

心不全で入院・治療されました患者様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究対象施設において心不全入院・治療された患者様のDPC情報から症例をランダムに抽出する研究です。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【研究課題名】

心不全医療の適正化に資するための全国規模データベースによるエビデンスの創出(心不全症例ランダム抽出に関する研究)

【対象となる方】

平成25年1月1日～12月31日の間に、JROAD-DPC登録施設からランダム抽出された施設において心不全で入院・治療をおこなった症例数

【研究責任者】 国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センター・宮本 恵宏

【研究の背景・目的】人口の高齢化や高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病に伴う冠動脈疾患の増加、さらに急性冠症候群に対する急性期治療成績の向上と普及に伴い、心不全患者が増加しています。今後ますます心不全患者は増加すると予想されており、わが国の疫学研究では、2030年には心不全患者が130万人を超えると予測されています。慢性心不全患者の多くは増悪による再入院を繰り返すため、医療上のみならず医療経済上の大きな課題としてとらえられています。このような問題点を抱えている心不全診療に対して対策を講じるためには、現在の診療実態を明らかにする必要があります。

【利用する情報】

- 施設名
- 地域
- 心不全年間症例

【外部機関への研究データの提供】

上記の情報を、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

- ・ 共同研究機関及び研究責任者

研究責任者 九州大学大学院医学研究院循環器内科学 教授 筒井 裕之

分担研究者

1. 東京大学大学院医学系研究科重症心不全治療開発講座・特任准教授・波多野将 情報収集

2.北里大学看護学部看護システム学・教授・眞茅みゆき 情報の解析

3.全国の日本循環器学会に所属する医療機関 情報収集

【研究期間】 倫理委員会承認後より2020年3月31日まで

【個人情報の取り扱い】

個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センター 宮本恵宏

電話 06-6833-5012(代表) (内線 8265)